

# 「御国が来ますように」 神の計画～あなたの名前～

マルコ 3:13～19

## ■ あなたの為に

教会には節目があります。年に一回誕生日がやってきます。私たちの教会でもこの誕生日をとっても大事にしています。なぜかならばその人が生まれたその意味がある日だからです。

それをもう一度思い出すことができる。教会にはクリスマスがあります。あなたの為にお生まれになった人がいます。そしてイースターがあります。それはあなたのために死んで命をかけて復活された方がいます。教会の節目はそれを確認する日です。私たち30年の節目にもう一度この神様の計画、そしてこの教会に与えられた使命が一体何なのか？！そしてその使命に立つ私たちがどこに目を向けていなければならないかということを考えなければなりません。

## ■ イエスが山に登り

ハル「山」7:19 アーラー「登る」創 2:6 支配、統治が全世界にノア水没す。当時の文化はヘブル文化でした。ヘブル語の言葉一つ一つがどういう意味でイエス様が使われていたのか。そこには意味があります。イエス様が再びとかイエスが山に登りと言わなくても文脈的に理解できますが、わざわざ入れているところに意味があるのです。

これは、アダムとイブが食べてはならない善悪の木の実を食べ、その瞬間に彼ら自分たちで善悪を判断するようになりました。つまり私たちが神になってしまったのです。しかし全ての人間が犯した罪を神は大洪水で滅ぼすことになりました。ノアの箱舟の大洪水が起こった時に川の水が上がってきた時に山々を全部覆いました。その大海が全地を覆った瞬間これがこの言葉の原点、「アーラー」という言葉です。ですからイエスキリストは旧約の時代、神は人々を罰として滅ぼすかもう私はこんな方法で滅ぼすまい。と、神様はその計画の中で全く違う方法を選びました。イエスキリストが山に登る。それはイエスキリストが十字架の愛で全地を権威で満たすという意味です。

## ■ ご自分が望む者たち

ハーフェーツ「望む」創 34:19 ヤコブの娘の婚礼の話です。ヒビ人シェケムがヤコブの娘と結婚することは、違う種族の婚礼になります。その為に夫であるシェケムは妻の部族に入る為に割礼を行わなければなりません。シェケムは普通では躊躇するような決断に喜んで応えました。そこにこの「望む」という原語が使われています。「割礼」は神の約束や命令を重んじ、加わることを望むものです。私たちはどうでしょうか？あなたは快く神がせよと言われることを聴いていますか？神が望む人は、文句を言わず信じて従う人です。

### ●呼びよせられる

カーラー「呼ぶ」創 1:5。ここでの意味は神は選び分ける。という事です。神は光を昼と名づけ闇を夜と名づけられました。神が呼び寄せられるものたちは完全に選び分けられたことを受け取りましょう。

### ●彼らはみもとに来た

ポー「来る、もたらす」創 2:19。これは全ての万物の生き物がアダムとイブの所へ連れてこられ、人が名前を付けた場面に使われているところです。そしてそのすべての生き物を応じてイメージに応じて名前を付けて行きました。そして役割がしっかりと明確に定められていきました。

### ●12弟子

12弟子とは、イエスキリストに従い、神の契約の中に生きる人。あなたのことです。

この十二人（シャネールアーサル）は、「2…権威ある者として、他と二分された者」「10…アーサル「十分の一をささげる」創 28:22 ヤコブのベテル。」ヤコブが神と戦う個所です。神は全てを与えて守ると約束され、その約束に応じて、すべてを与えて下さる中から十分の一をお返しするという、神と人の契約神の約束が成就した場面です。イスラエルが神の家に帰る。このような意味があります。私達の人生の十分の一を神様に返すという約束は、私達の心が守られるためのものです。私達はこの十分の一を大切に考えることができているのでしょうか？

### ●任命し

マーナー「教える」創 13:16。これはロトとアブラハムの別れの後、イスラエルが数えきれないほどの民となる。という個所と同じ原語が使われています。

神様があなたを選びました。あなたが私を選んだわけではない。それが実を結び残るためである。残った者の実は数えきれない砂のような海の砂のような空の星のようになる。という約束がこの中にあります。

### ●彼ら（使徒）を遣わす

シャーラハ「遣わす」創 3:22。永遠に生きる 悪霊を追い出す。という意味があります。私達の失敗を通して、神様は私達を遣わされます。

### ●ガーラシュ「追放する」

創 3:24 エデンの追放 第二のアダムにより回復

シャーラハとガーラシュはアダムとイブが罪を犯した時の出来事です。彼らは木の実を見て美しいと思って手を伸ばしました。これがシャーラハです。これは手を差し伸べるという意味です。神様は私たちの人生の大失敗、人間の原点の大失敗と同じ言葉を使って遣わされます。私達は失敗をしました。でもその失敗の土台にある私達を神様は遣わすと言われました。実はあの収税人マタイも神様の前に私についてきなさいと言われた時に、手を伸ばして立ち上がったというのと同じなのです。エデンの園で神様を裏切った人間が神に隠れて取って食べ、彼らは神様によってエデンの園から追放されました。彼らは追放されたのですがその同じ手を差し伸べたその手が知識を知りました。その私たちが神の知恵を知りイエスキリストを通して追放された私たちが自分の中にある悪を追放し、私達に働くすべての悪を追放する権威が与えられたのです。私達が新たに神に手を差し伸べる時に私たちの心の中に潜む、本来神の作品としてつくられたにも関わらずそうではなくなった私達の内側にある、自分が求めない悪を追い出すことが出来る力を頂くことができます。それは失敗者であった私たちが失敗者であることを知った瞬間から起こる奇跡です。私達の罪は赦され、神様に喜んで従うならば、あなたの家はエデンの園となりそこに住まうことができるのです。

## ■ アダムとエバ（自分で判断してしまう私達）

アダムとエバの血を引き継いだシモン。彼の名は「聞く」創世記 3:8。「聞く」最高の献げ物であり礼拝です。（1サムエル 15:22）にも同じ原語が使われています。アダムとエバは、神様との約束を破り、食べてはならない木の実を食べ、それを人のせいになりました。自分自身で善悪を判断し、御顔を避けました。しかし、神はその罪を赦し。エデンの神と人との交わりを回復されたのです。（関係の再回復・御声を聞くものへの回復）

## ■ マリヤとマルタ

マリヤは聞くことを選びました。一番良いものを選びました。マルタは大騒ぎして聞くことを忘れてしまいました。神へのいけにえは砕かれた魂、砕かれた心、神はそれをさげすみません。神様の前に砕かれるためには私たちはなくならなければなりません。我がうちには私が生きるにあらず。キリストが我がうちに生きるなり。です。

## ■ シモンからペテロへ

特別にペテロ「岩」と名づけられました。（へ）ケーフ。ヨブ記 30:6「岩の穴」ケーフと同じです。それは蔑まれ、忌み嫌われ、国から追い出された者たちの住む所を指し示します。エレミヤ書 4:29「岩によじ登る」ケーフという同じ原語が使われている箇所がありますが、神から離れ、偶像礼拝の罪を犯した民に対する神の裁きの預言です。しかしそこにも神様の回復があるのです。岩の穴から叫んでいる私達。イエス様はそのあなたを選び語られています。「私達の視線を変え、神様と同じものを見、ついてきなさい。」と。

## ■ 最後に

今日、私たちは祈りたいのです。本当にあなたは、今あなたの名前の役割を果たしていますか！？一人ひとり名前があります。本当にあなたの役割を果たしているのでしょうか！？そしてその目で見ているものがイエス様と同じでしょうか！？あなたはペテロです。そうです失敗者です。自分を否定しているかもしれない。だけど神様はそんなあなたを選んで、望む者としてついてきなさいと言ってくれています。あとは返事をするだけです。神様があなたを選んだのは行って実を結びその実が残るためです。

（要約者：西崎 孝之）

（2022年 9月18日）